



近藤 魁人 議員



魅力ある海岸線の創出を

問 海水浴場を再び設置するべきと考えるが、市の意見を伺う。

答 「産業振興課長」 これまでは安全性の確保が難しかったが、開設に向けた調査・研究を行っていきたい。

問 過疎債を活用し、特にサーフアール向けのシャワー、トイレ施設を整備してはどうか。

答 「産業振興課長」 現在、吉崎浜と堀川浜には、シャワーつきの公衆トイレを設置している。過疎債を活用した施設整備については、今後、旧野菜区域の活性化の観点から、関係課と協議していきたい。



市役所内の労働環境

問 現在、療養休暇や休職中の職員数を伺う。

答 「総務課長」 3月1日現在で、療養休暇中の職員が3人、分限休職中の職員が7人である。

問 面談で療養休暇や休職の理由を把握しているか。

答 「総務課長」 療養休暇申請時に医師の診断書が必要であり、総務課が疾病等の状況を聞き取り、状況を把握している。また、長期療養中の職員については、定期的な面談等を通じて状況を把握している。

問 体調不良や精神疾患を理由にした自己都合退職者数について伺う。

答 「総務課長」 体調不良などを理由にした退職者数は、個人情報とプライバシーに関わるため、地方公務員法に基づいて公表している病院職員と千葉県教員を除く自己都合退職者数では、令和元年度が3人、令和2年度が8人、令和3年度が6人である。

問 市長は退職理由を含めた状況を把握しているか。

答 「市長」 職員が自己都合退職する際、退職願が総務課に提出され、私が承認するので、状況を把握している。また、退職願の提出や事前相談があった場合、総務課が事情の聞き取りを行い、退職理由を含めて報告を受けている。

問 市長は管理監督者としてハラスメントを放置し、良好な勤務環境を確保できなかった場合、管理監督責任を問われることもあることを知っているか。

答 「市長」 管理監督責任というのは、当然あるということには認識している。



椎名 勝英 議員
(日本共産党)



少子化対策について

問 日本の人口は、2005年に戦後初めて前年を下回った。そして、2011年以降11年連続して減少している。岸田首相は、異次元の少子化対策を行うとしている。

匝瑳市が誕生した平成18年1月の人口は、4万1,975人であった。令和5年1月の人口は3万4,271人となり、17年で7,704人も減少している。

千葉県は、少子化対策を重点の一つに掲げて、内閣府の地域少子化対策重点推進交付金を活用して市町村の少子化対策事業を推進している。

問 匝瑳市として少子化対策を推進すべきと考えるが、市長の所見を伺う。

答 「市長」 7つの重点施策の一つに「未来を担う子育て支援」を位置づけ、少子化対策に取り組んでいきたいと考えている。令和5年度は、病児・病後児保育事業のほか、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した新たな少子化対策等を実施していく。活用の内容は、結婚新生活応援事業を実施し、新婚世帯に住宅費や引っ越し費用等の補助を行う。



問 内閣府の地域少子化対策重点推進交付金を活用した少子化対策事業を今まで一度も実施しなかった理由は何か。

答 「福祉課長」 本市の少子化対策については、国及び県などのほかの交付金や補助金を活用して事業を実施してきたため、地域少子化対策重点推進交付金は活用してこなかった。

八日市場駅南側改札の設置を

問 市長は、JRに要望書を提出したとしているが、全く進展がない。市長は、利用客の増加を図ることを掲げているが、利用客の増加を図るためにどのようなことを考えているのか。

答 「市長」 新たな改札窓口の設置に当たっては、鉄道利用客を増やしていくことが不可欠となる。利用客の増加を図っていくため、引き続き千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、終電時刻の繰下げ、快速列車の運行区間の延伸、特急列車の増発等、鉄道利用客の利便性向上に向けた要望活動を行っていく。

また、市民病院の移転を含めた駅南側の周辺環境の整備等、新たなまちづくりの検討を行っていきたい。

